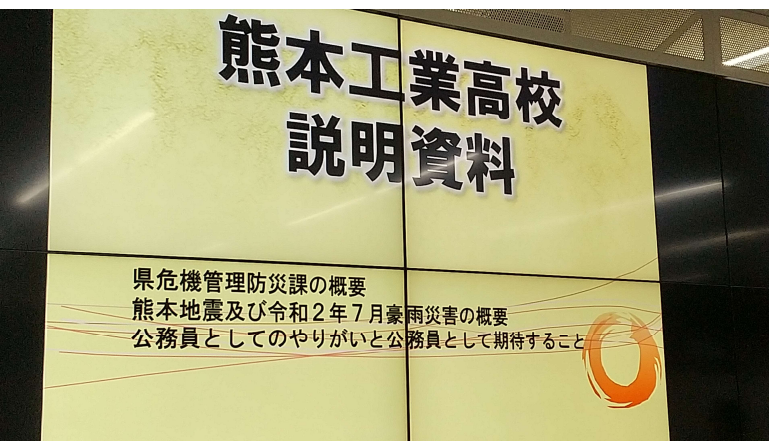




S P H防災マネージメントコース

「マイタイムラインの作成」

平成30年～令和4年
研究の軌跡と今年度の成果



防災マネジメントコース 3年間のSPHの活動の軌跡

把握する（１年目）から体験する（２年目）へ

<1年目>

- 1 東京都庁 危機管理防災課 訪問
- 2 熊本県庁 危機管理防災課 訪問
- 3 熊本県庁 河川課 訪問
- 4 熊本県庁 都市計画課 訪問
- 5 益城町役場 建設課訪問
- 6 国土交通省 国道河川工事事務所 講話

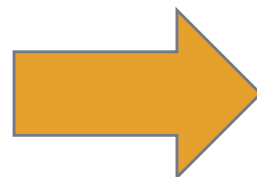
<2年目>

- 1 熊本県庁 危機管理防災課 訪問
- 2 熊本市 危機管理防災総室 訪問
- 3 熊本大学水環境・防災減災センター
松田教授 “地震のメカニズムと地震被害”
- 4 九州北部豪雨 福岡県朝倉市赤谷川復旧事業視察
- 5 南阿蘇 断層被害状況 見学会
- 6 西日本豪雨災害 岡山県真備町視察
阪神淡路大震災からの復興 兵庫県庁防災センター
- 6 熊本大学水環境・防災減災センター
マイ・タイムラインの作成研修
- 7 土木科1年 マイ・タイムライン作成交流授業(1・3年)

体験する（3年目）から継続する（4年目）へ

<3年目>

- 1 熊本県庁 危機管理防災総室 訪問
- 2 熊本県庁 都市計画課 訪問
- 3 熊本県庁 河川課 訪問
- 4 熊本大学水環境・防災減災センター
マイ・タイムラインの作成研修
- 5 南阿蘇 断層被害状況 見学会
- 6 男女共同参画の視点でみる熊本地震講話
～今、私たちにできること～
- 7 土木科1年 マイ・タイムライン作成交流授業(1・3年)
- 8 リモートによるワークショップ開催
(マイタイムラインの作成)



継続する4年目の研究

<1年目>

地震被害を中心に講話・視察により自然災害に対する行政の役割を把握する。

<2年目>

洪水被害を中心に被災現場を見学し、被害地域の状況から様々な原因とその解決方法を探る。

<3年目>

マイ・タイムラインの作成方法を身につけ、ハザードマップなどの災害に関する情報収集方法、避難方法を具体的に身につける。



把握する

体験する

身につける

そして、SPHが終わり、4年目の今年

身につけた技術を生かす産学官の連携

予防的避難のためのマイタイムラインを広めたい

防災マネジメントコースの3年間のカリキュラム

1年生：把握する 3年生によるマイタイムライン作成の講義を受ける（学年間連携）

2年生：体験する 南阿蘇・益城町断層被害見学会 高大連携（熊本大学）

3年生：身に付ける 外部へのアウトプット

「マイタイムラインの作成による自助・共助」について

今年度の計画

- ①坂本町球磨川豪雨災害現場見学
- ②熊本県庁 危機管理防災室・河川課・都市計画課 訪問
- ③熊本大学マイ・タイムラインの作成の講義
- ④研究発表会 本日
- ⑤1年生へのマイタイムライン実践授業 くまもとマイタイムライン
- ⑥市民講座への参加 マイ・タイムラインワークショップの開催

球磨川の坂本町の見学会について

R3. 5. 19



球磨川豪雨災害見学会及び講話

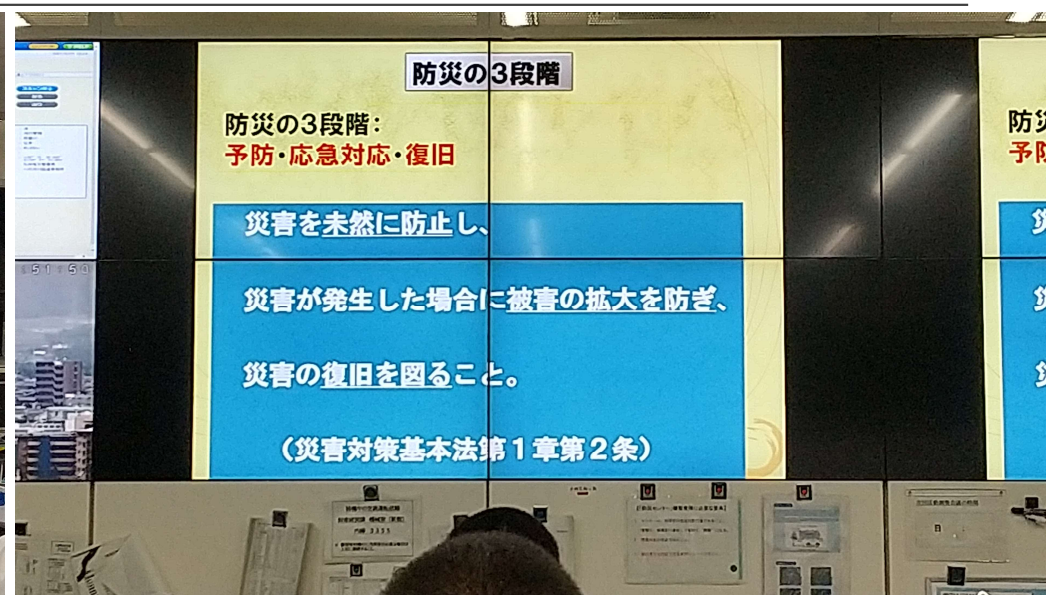


球磨川復旧工事



水野建設コンサルタント 宮本克彦様より
「災害時のコンサルタントの業務について」

マイタイムラインを県庁危機管理課学ぶ



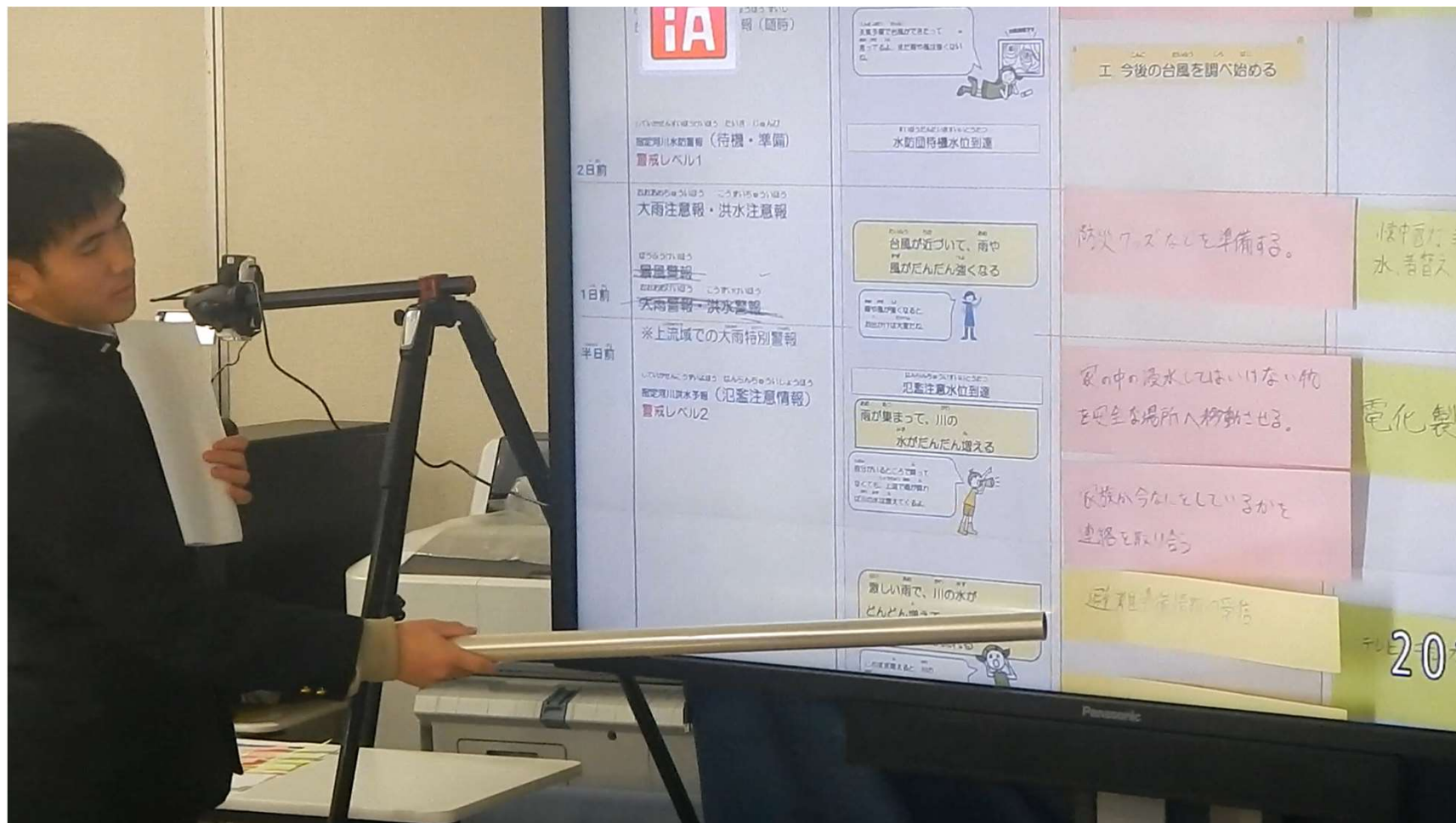
この他、河川課、都市計画課を訪問し、事業内容の説明を聞きました。

マイタイムラインを熊本大学で学ぶ



産学官連携のうち、高大連携に取り組みました

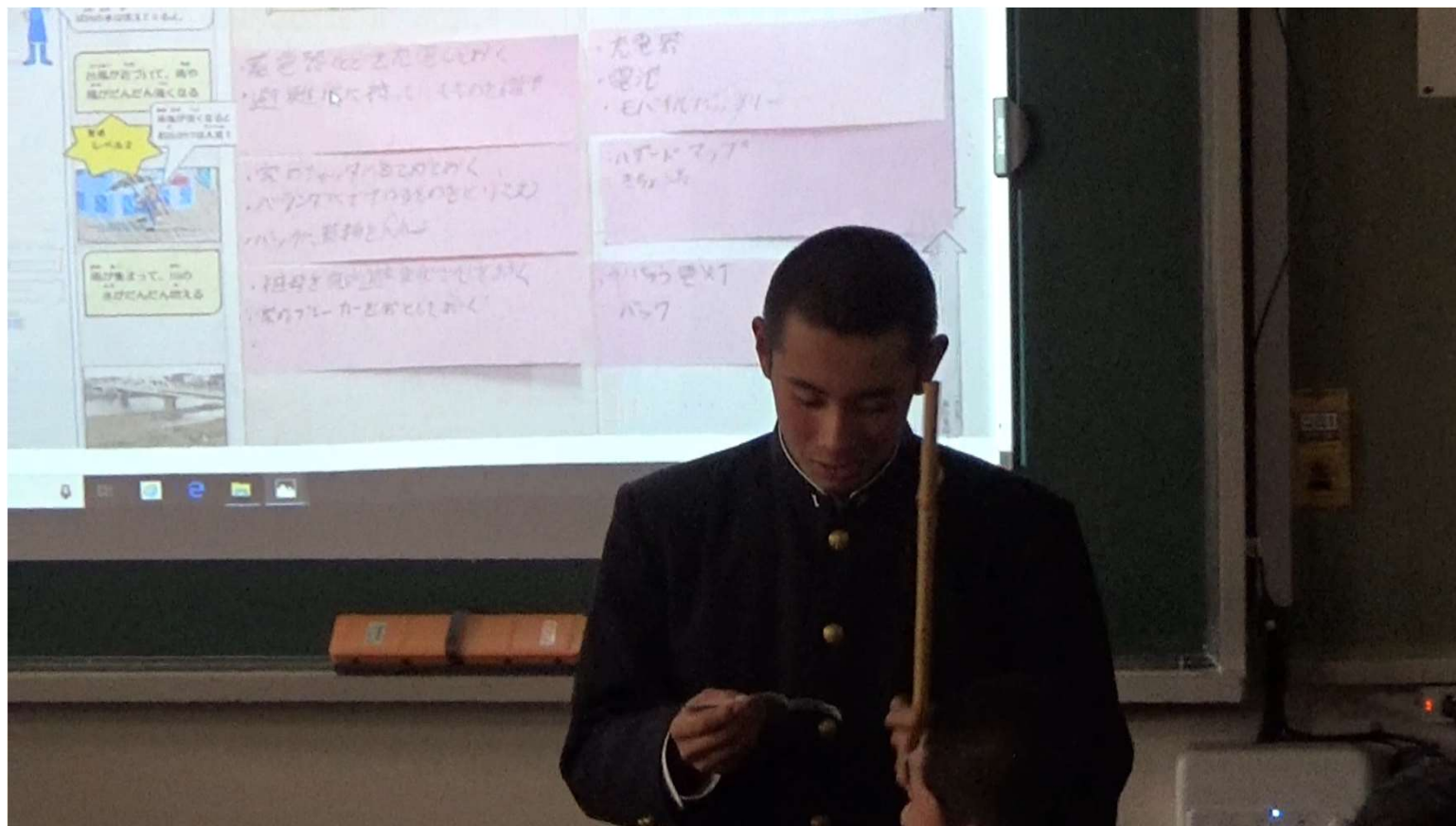
マイタイムラインを熊本大学で学ぶ



マイタイムライン交流授業 (1年生で受けた先輩からの授業)



マイタイムライン交流授業
(1年生で受けた先輩からの授業)

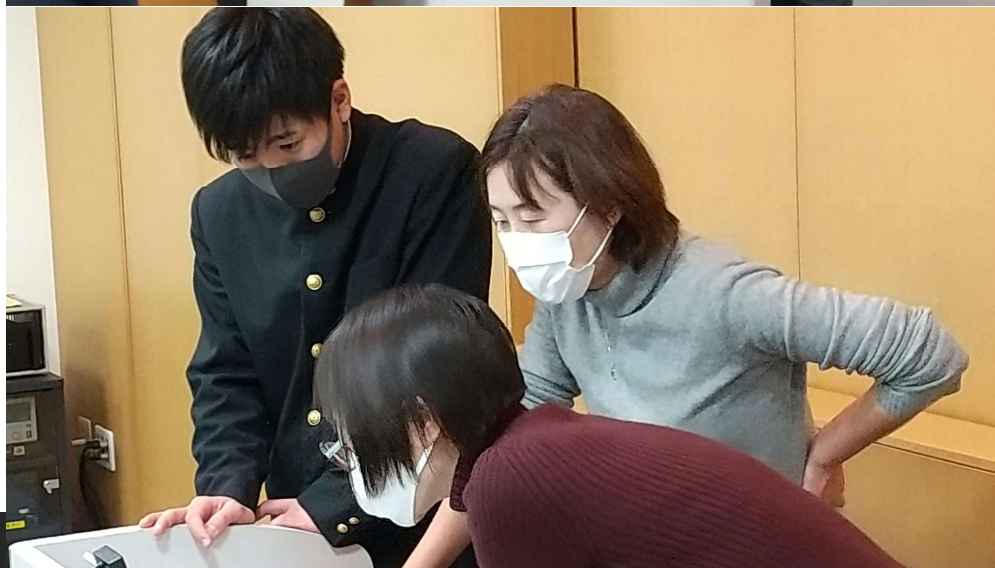
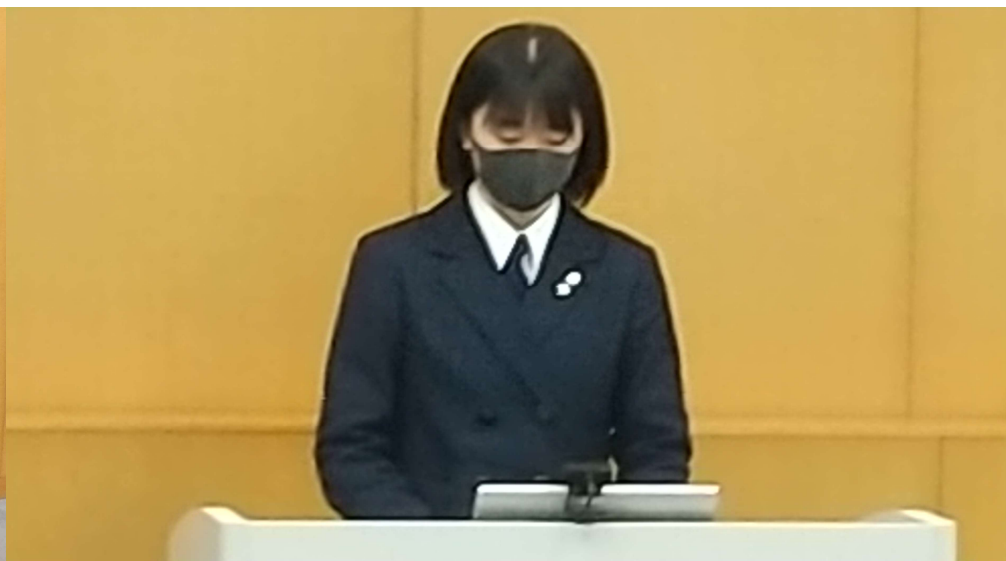
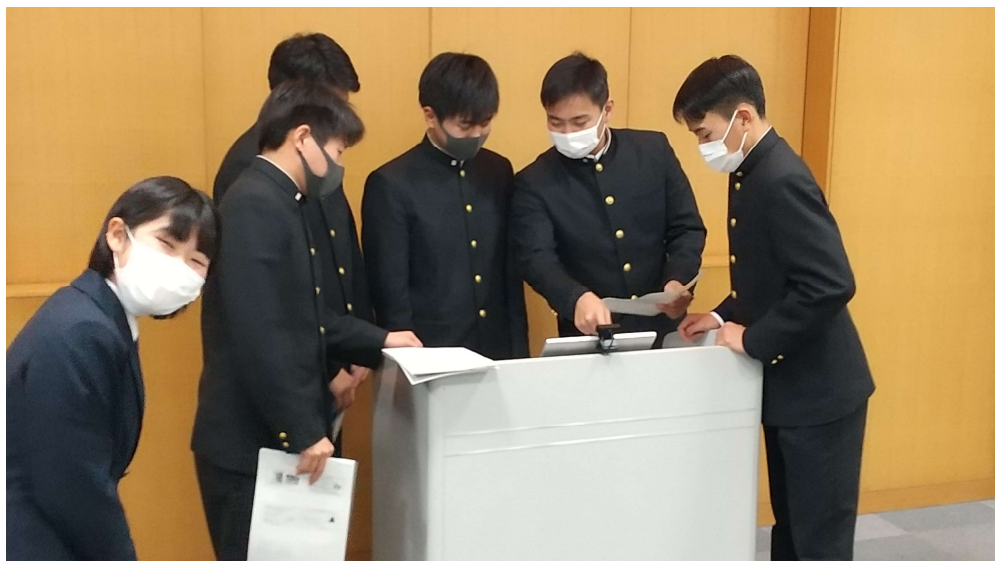


S P H成果発表会

令和2年12月15日



パレア市民講座 リモート録画 令和3年1月15日



マイタイムラインの作成



熊本県立熊本工業高等学校
土木科3年 令和2年度 防災マネジメントコース



くまもとマイタイムラインへの挑戦

- 1 昨年度の先輩方は、国土交通省が作成したマイタイムラインに熊本で起こった台風 15 号の天気図で 3 日前からの警戒情報に対するマイタイムラインの作成を行った
- 2 今年度は、くまもとマイタイムラインが熊本県庁危機管理防災課によって作成され、同時に防災ハンドブック等の資料も入手できたので、**くまもとマイタイムラインの作成に挑戦する**
- 3 9 月から本校へ**タブレットが全生徒分導入された**ので、オンラインで作成することができるくまもとマイタイムラインに挑戦することにした
- 4 実際に、**国土交通省版とくまもと版の長所、欠点を補いながら**、両方の良いところをうまく組み合わせ、**熊工版タイムラインの作成を目指す**

くまもとマイタイムライン 作成の留意点

- 1 自宅の防災リスクを知る
- 2 5段階の警戒レベル」の情報と行動を理解する
- 3 情報を知る手段
- 4 どこに、だれと、いつ避難するかを知る
- 5 避難行動とその準備を考える
- 6 避難するタイミングを知る
- 7 コロナの影響を考え、避難所以外の避難場所も考える



1 「マイタイムライン」は一人ひとりの防災行動計画

- マイタイムラインは大雨や台風などの自然災害から私たち自身を守るための防災行動計画です。
- 私たち一人ひとりがあらかじめ避難行動をまとめておくことで、あなたと家族の行動がはつきりし、いざという時あわてずに避難できます。
- 「5段階の警戒レベル」を確認して、避難を開始する状況やタイミングである「避難スイッチ」がはつきりするように、マイタイムラインを作成しましょう。
- マイタイムラインが自分の命や身近な人の命を守ることにつながります。



マイタイムラインを使って避難（基本）
警戒レベルを参考にマイタイムラインの避難行動や準備を応用
地震発生後にマイタイムライン作成で学んだ避難行動や準備を活用して避難

4 「5段階の警戒レベル」で自分のとるべき行動をチェック!

- 防災情報は、わかりやすく「5段階の警戒レベル」で提供されます。レベルに応じて、私たちがとるべき行動が示されているので、「自分の命は自分で守る」意識を持って、しっかり判断することが大切です。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報	防災気象情報 (警戒レベル相当)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保 【市町村発令】	大雨特別警報 氾濫発生情報 【暴風特別警報※2】
～警戒レベル4までに必ず避難～				
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示 【市町村発令】	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮警報・特別警報
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ●避難に時間のかかる要配慮者（高齢者・障がい者・乳幼児等）とその支援者は避難 ●高齢者等以外の人も危険を感じたら自主的に避難	高齢者等避難 【市町村発令】	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報 高潮注意報(警報の可能性) 【暴風警報※2】
2	気象状況 悪化	自分の避難行動を確認	大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 【気象台発表】	はんらん 氾濫注意情報 【強風注意報※2】
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (警報級の可能性) 【気象台発表】	

※1 レベル5は市町村が災害の状況を確実に把握できるわけではないことから、必ず発令されるものではない。
※2 暴風特別警報、暴風警報、強風注意報については、参考として記載している。

出典：熊本県HP、危機管理防災課

③情報を知る手段

洪水時は、テレビ、パソコン、スマートフォン、携帯電話など様々な手段で情報を収集する。ハザードマップ(防災マップ)で自宅(周辺)の災害リスクを知る



熊本地方気象台



国土交通省ハザードマップ

くまもとマイタイムラインシート

家族構成	4人(一緒に避難: 3人)	自宅の災害リスク	洪水(山)、土砂災害(崖)、高層、地震
避難先の名称(施設など)	移動時間	対象とする災害(○を付ける)	
避難先①	園々小学校体育館	徒歩15分	洪水 〇 土砂 〇 高層 〇 地震 〇
避難先②	ウーパール(念志中銀行)	徒歩15分	洪水 〇 土砂 〇 高層 〇 地震 〇
緊急避難①	いもこの家	徒歩20分	洪水 〇 土砂 〇 高層 〇 地震 〇
緊急避難②	はんこみ	徒歩20分	洪水 〇 土砂 〇 高層 〇 地震 〇

わたしと家族の避難行動

平時の備え

【避難訓練】 6月3日 念志中 水害・地震・避難 訓練に参加

【防災情報】 ホームページ「防災情報」からメール、パンのふた裏面に通知

【避難準備】 裏面の避難する時の「服装」「持ち出し品」「備蓄品」を準備

【その他】 自宅の裏にある斜面と区画線の崩壊に注意

警戒レベル1 (2~3日前) 早期注意情報(警戒レベル1)

①テレビ・新聞・気象情報・メール ②気象庁ホームページからメール(気象)
③携帯電話・メール(気象) ④メール(気象) ⑤メール(気象) ⑥メール(気象)
⑦メール(気象) ⑧メール(気象) ⑨メール(気象) ⑩メール(気象)

警戒レベル2 (気象状況が悪くなる) 大雨・洪水注意情報/氾濫注意情報

①テレビ・新聞・気象情報・メール ②気象庁ホームページからメール(気象)
③携帯電話・メール(気象) ④メール(気象) ⑤メール(気象) ⑥メール(気象)
⑦メール(気象) ⑧メール(気象) ⑨メール(気象) ⑩メール(気象)

警戒レベル3 (災害のおそれあり) 高齢者等避難

①避難スイッチ: 市町村緊急・高齢者等避難
②避難先: 市町村指定の避難場所(市町村指定の避難場所)へ避難
③避難先: 市町村指定の避難場所(市町村指定の避難場所)へ避難

警戒レベル4 (災害のおそれ高い) 避難指示

①避難スイッチ: 市町村緊急・避難指示
②避難先: 市町村指定の避難場所(市町村指定の避難場所)へ避難
③避難先: 市町村指定の避難場所(市町村指定の避難場所)へ避難

警戒レベル5 (発生後) 緊急安全確保

①避難スイッチ: 市町村緊急・緊急安全確保
②避難先: 市町村指定の避難場所(市町村指定の避難場所)へ避難
③避難先: 市町村指定の避難場所(市町村指定の避難場所)へ避難

くまもとマイタイムラインシート

【家族の連絡先や行動】 ※避難する時に一緒にいないことも想定して書いてください。

名前	携帯電話番号	自宅以外の主な滞在場所(職場・学校など)	電話番号	もしものときの合流場所・連絡方法など
熊本 太郎	090-1234-XXXX	(株)熊本銀行	096-1234-XXXX	月曜日の14:00頃
" 花子	090-1234-XXXX	(株)熊本銀行	096-1234-XXXX	"
" 恵(姉)	090-1234-XXXX	熊本県立大学	096-1234-XXXX	"
" 康(叔)	090-1234-XXXX	熊本工業高校	096-1234-XXXX	"

【避難の準備】 ※あらゆる災害を想定し、日ごろから準備しておきましょう。

①避難する時の服装

✓ 安全で動きやすい服装を一つにまとめておく(寒い時期は、防寒対策も十分に行う)
✓ リュックなどの両手が自由に使える持ちやすいバッグを選ぶ
✓ 大雨で道路や歩道が浸水している場合に備えて運動靴を選ぶ(長靴は水の中に入ると歩きにくくなる)

②避難する時の持ち出し品 ※基本的な品目をチェックし、各自で追加・削除してください。

現金	通帳・印鑑	健康保険証	免許証
懐中電灯/ランタン	乾電池/バッテリー	携帯電話充電器	(ウェット)ティッシュ
飲料水	食料(保存食など)	下着・衣類	靴
防寒着	毛布/寝袋	タオル	眼鏡・コンタクト保存液
薬・お薬手帳	ハブラシ	生理用品	マスク
ビニール袋	消毒薬	スリッパ	

③備蓄品リスト ※基本的な品目をチェックし、各自で追加してください。

保存食	インスタント食品	飲料水	給水ポリタンク
紙皿・紙コップ	ラップ	割り箸	ビニール袋
(ウェット)ティッシュ	タオル	簡易トイレ	
バッテリー			

【地震と津波の避難行動】 ※表面(水害)の避難行動のうち「避難開始」以降を中心に参考にする

平時の備え

【防災訓練】 11月5日 くらもちシヤワヤ 訓練に参加

【避難先】 地震と津波の避難先を次表の「避難開始」の下にそれぞれ記入

【避難準備】 上記の避難する時の「服装」「持ち出し品」「備蓄品」を準備

いつ起きかわからない 地震発生(強い揺れ)

★3つの安全確保行動(まず低く・頭を守り・動かない)

・一緒にいる人の安全確認
・避難先・避難経路を確認
・持ち出し品・備蓄品を確認

発生後 津波や地震活動に備える

＜自宅が損壊した(損壊のおそれがある)場合＞

①避難開始
避難先: 園々小学校体育館へ(徒歩10分)
避難先: 園々小学校体育館へ(徒歩10分)

②避難開始(とにかく安全な場所へ)

※津波到達まで時間がある場合は、避難先: 〇(分)
※津波到達まで時間がない場合は、緊急避難先: 〇(分)

まとめ

- 1 昨年までの3年間の防災マネジメントコースの活動の様々な視察や研修の成果が、今年度の活動に引き継がれ、生かされている
- 2 4年間で本コースも、産学官の特に学(熊大)・官(県庁・国土交通省)からの協力で、防災に対する様々な知識、技術をつけることができるようになったと思う
- 3 マイ・タイムライン作成について、4年目で校内外へ広める発表をすることができた
今年度は、さらにくまもと版のマイタイムラインに挑戦し、自助・共助の重要性をさらに分かってもらうために、交流授業、リモートによるワークショップなどで広めていく